



Japanese Honeybee

ようこそ、 課題解決・演習プロジェクト G-コマースへ。

青森中央学院大学 / 2022・キャリアプランニングⅣ
担当教授：竹内紀人、授業講師：向中野光秀、協力：パティスリー・アトリエBON

1

◆22「G-コマース」課題設定の背景



地球も、街も、そして人間も、課題解決への旅の連続。でも、大切なのは、課題を前に立ち止まるのではなく、どんな小さな一歩でも、一人ひとりが力を合わせ、行動を起こし、つないでいくこと。…そして、その未来を信じることです。

地域の小さなビジネスに、 SDGsの大きな夢を託して。

2

◆チャレンジする「課題&テーマ」



Wildflower Honey
made by the Japanese honeybee

「百花蜜」のsmallビジネスで、
里山の森と人々を元気に。

知っていますか？青森が北限の日本ミツバチ。
「百花蜜」は、北国の里山とミツバチの希少な贈り物。
元気な里山の再生に思いを込めた「百花蜜スイーツ」を開発し、
最適なマーケティングとプロモーションを提案する。

3

◆「課題&テーマ」参考情報



「SDGs」への取り組みと共感のひろがり。

- ◆健康志向で自然食品の需要増。
- ◆「マスカ・ハニー」がブームにも。
- ◆「共感」マーケティングの時代。市場
- ◆日本ミツバチHoney100g1500円！
- ◆小さなビジネスも積みれば・・・。
- ◆「GB」& 副業ビジネスにも注目が。地域
- ◆コミュニティ（場）づくりが元気の元。
- ◆地域をネットワークする重要性。
- ◆地方の「シビック・プライド」に熱い視線。
- ◆地元も知らない？青森北限の日本ミツバチ。
- ◆養蜂の中心は「西洋ミツバチ」！
- ◆趣味で楽しむ「週末養蜂家」が増。
- ◆古木減少で「洞の自然巣」減。
- ◆ミツバチ減少で果樹の受粉に影響も。
- ◆高齢化で里山の荒廃が進む。里山
- ◆里山は人間と動物の絶妙な共生域。
- ◆里山は子供のワンダーランド。



4

◆「SDGs」17の目標って、何？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- ① 貧困をなくそう
- ② 飢餓をゼロに
- ③ 全ての人に健康と福祉を
- ④ 質の高い教育をみんなに
- ⑤ ジェンダー平等を實現しよう
- ⑥ 安全な水とトイレを世界中に
- ⑦ エネルギーをみんなに & クリーンに
- ⑧ 働きがいも経済成長も
- ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ⑩ 人や国の不平等をなくそう
- ⑪ 住み続けられるまちづくりを
- ⑫ つくる責任つかう責任
- ⑬ 気候変動に具体的な対策を
- ⑭ 海の豊かさを守ろう
- ⑮ 陸の豊かさを守ろう
- ⑯ 平和と公正をすべての人に
- ⑰ パートナリシップで目標を達成しよう

◆グループワークの基本



一人は皆のため、皆は一人のために。

One for all , All for one .

- ① チーム全体の成果を最優先し、ベクトルを合わせ、全員が協調・連帯して各自の役割を果たす。
- ② 責任ある多様な意見を尊重し、自由に活発な議論により、チームとしての最善の結論を見出す。
- ③ 与えられた課題と時間軸を良く理解し、効果的で論理的な課題解決へアプローチする。

◆プロジェクトのステップと日程

全員のチームワークで、確実なステップをマネジメントしよう。

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4
◆課題の理解・共有	◆解決策の検討	◆解決策のまとめ	◆プレゼン発表
授業① 10月14日	授業② 10月21日 授業③ 10月28日 授業④ 11月11日	授業⑤ 11月25日 授業⑥ 12月09日	授業⑦ 12月16日
ゲスト講話			ゲスト講評

各チームの奮闘を期待します。



2022・キャリアプランニングIV「G-コマース」 M.Mukainakano